

第五回

深掘り！

京博

バックヤード

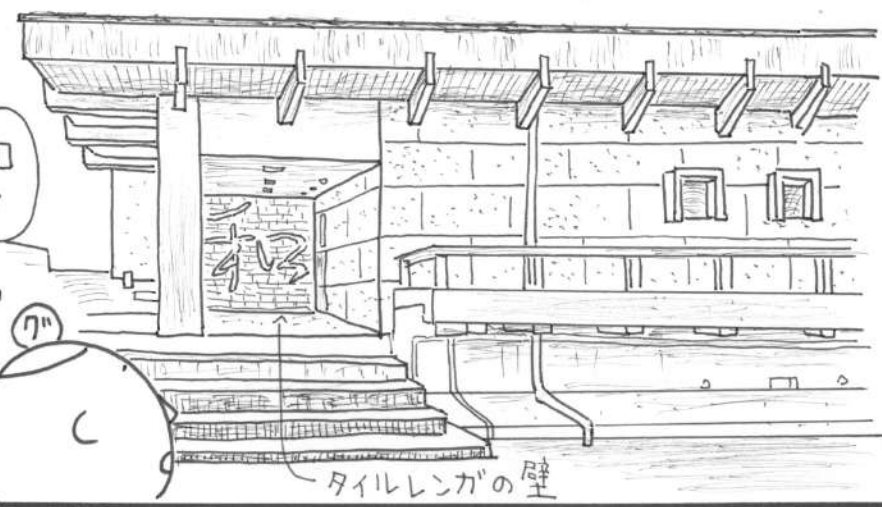
その一

(研究員さんの

好きな宇宙)



京都国立博物館の北東にある非公開のこの建物



和？

京博の研究員はニラ語る

壁のレンガタイル

いったんこの中に入ると

出た時にはいつもハッとするんです



ほんの少し離れただけのはずなのに数時間が過ぎていってしまう時にまると一日……ええ

おそらく他の研究員も……

あたかもパラレルワールドから帰還したかのような現象が起るといふ……

元は京都市東山青年の家という施設だったのを'01年に京都市から購入し改装しました

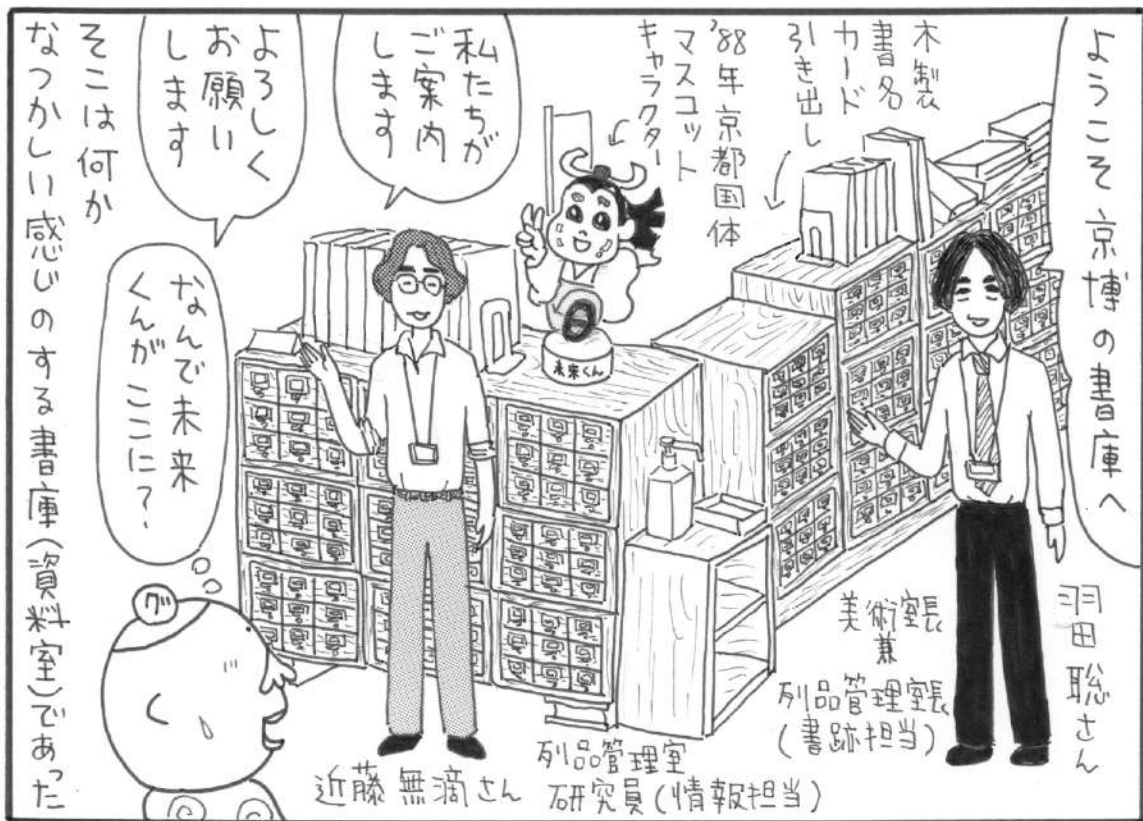


急な斜面に建てている3階が入口なんです

副館長 栗原さ

ビュローにレトロな建物の3階入口を入ると

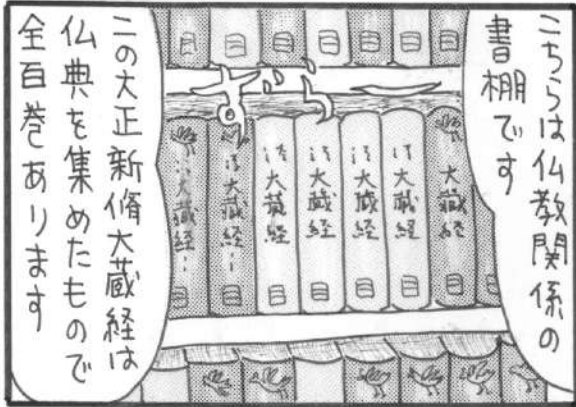






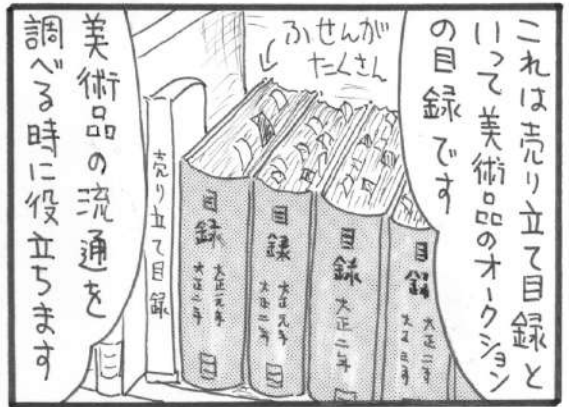
3階のこちらの部屋も書庫です

わあ本がいっぱい！
（としか言いようがない）



こちらは仏教関係の書棚です

この大正新脩大蔵経は
仏典を集めたもので
全百巻あります



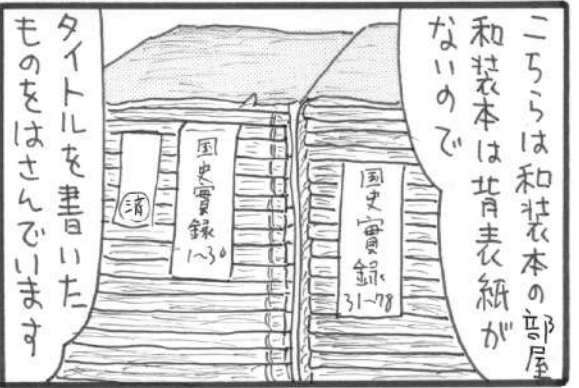
これは売り立て目録として美術品のオークションの目録です

美術品の流通を調べる時に役立ちます



この部屋は外国の図録などを置いてます

いろいろな国から寄贈されます



こちらは和装本の部屋 和装本は背表紙がないので

タイトルを書いたものをはさんでいます



だからこの部屋に入るとわあこんな本もあったんだーって発見があった

なかなか出ることがあるんですよー 20年勤めても新鮮なるほど！



そしてまたこちらも和装本の部屋

和装本 多いですねー 受け取ることも多いので



そしてこちらが
2階です

わあー本がいっぱい
(まだあるんかい?)

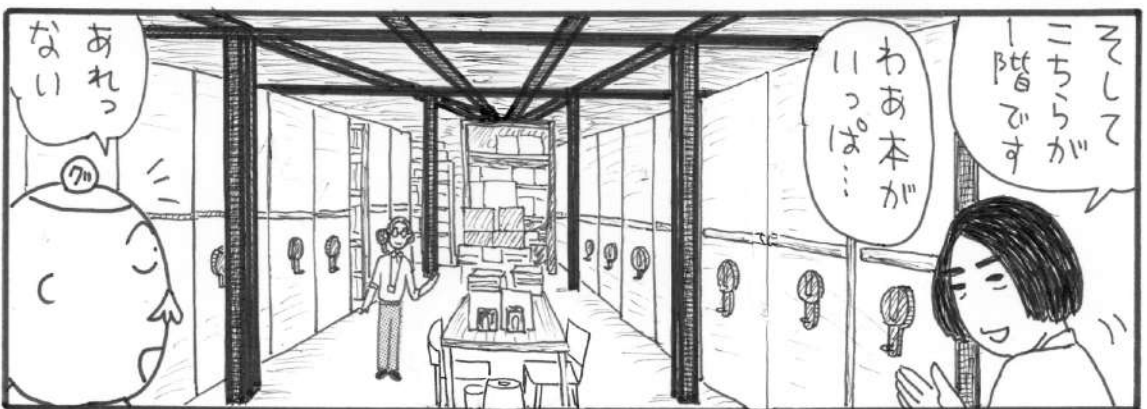


こうしてずっと
書棚を
見まわすと

普通の図書館の
ようにも見えるけど...

棚にある本
学術書とか
研究書とか
専門的すぎて
気軽に手に
取れる本が
少ない
ところが
普通の
図書館との
違いですねー

はいより
深く知りたい
人向き
ですね



そして
こちらが
1階です

わあ本が
いっぱい...

あれっ
ない



いえスライド式書棚
になってます

こちらは全国の
大学や研究機関
から送られてくる
雑誌や研究誌が
主です

うわー
どっせり

いろんな
ところから寄贈され
たり定期的に送られ
たりが多いんですね

